

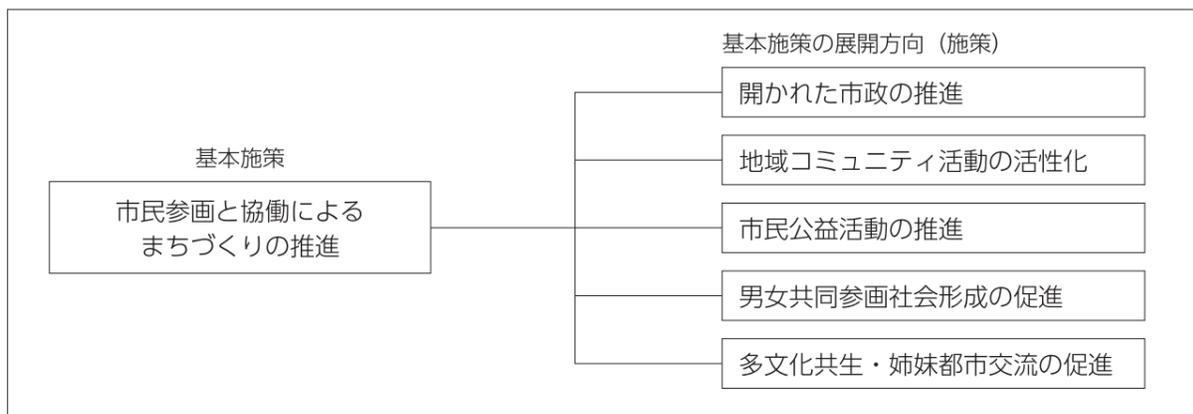
1 施策の大綱（政策の基本目標）

みんなで創る生きがいあふれるまちづくり

2 基本施策名称

1-1 市民参画と協働によるまちづくりの推進

3 体系図



4 基本方針（基本施策がめざすまちづくりの方針）

市民が市政に参画する機会を増やし、その声を積極的に市政運営に取り入れるとともに、地域や市民公益活動団体等と連携して地域課題の解決に努め、地域の特性を活かした個性豊かなまちづくりを進めます。

5 現状と課題（基本施策に取り組むにあたり、踏まえるべき現況や解決すべき課題）

- 市民が市政に参画し、協働によるまちづくりを進めるためには、市の施策や事業の意思決定、実施過程等の透明性を高め、説明責任を果たすことが必要です。
- 市民からの声を市政運営に取り入れるため、広聴活動の重要性が増していますが、特にも若い世代や女性からの声を十分に聴取できていない状況となっています。
- 市民の市政への参画をさらに促すためには、市民に市政への関心を持ってもらうことが大切です。パソコンやスマートフォン等の普及によって、行政の情報伝達手段は多種多様化しており、若者や高齢者等、それぞれの生活形態に合わせたわかりやすい情報の発信を行うことが求められています。
- 国及び自治体が保有する公共データを国民・企業等が利用しやすい形で公開することで、様々な情報との連携が強化されることにより、新たな価値の創造が強く期待されています。
- 少子化が進むとともに独居世帯が増えている現状において地域コミュニティを維持、発展させていくためには、これまで以上に幅広い世代による地域運営への参画が求められます。また、地域コミュニティ組織については、イベント実施型から地域課題解決型への転換をするなど、組織のあり方をシフトさせていく必要があります。
- 協働のまちづくりアカデミーは協働の担い手育成を目標としていますが、各地域における人口減少や高齢化に加え、その修了生と地域づくり団体とがうまくつながることができず、地域づくり活動の担い手不足の解消には至っていません。
- 多くの市民公益活動団体が生まれ、協働の担い手として大きな力となってきています。しかし、市民の認知度が低い、団体同士、地区振興会、企業等との情報交流及び交換の場やツールが限定的である、手本となる事例や参考となる情報が得にくい状況にあるなどの理由により、活動の広がりや担い手の確保につながっていません。
- 家庭内における家事・育児のように、男女の役割分担について変化が見られる分野もありますが、地域や職場における方針決定の場面における女性の参画については、あまり進んでいません。
- 技能実習生の増加等により、日本語が得意でない外国人住民が増加していますが、同じ地域コミュニティの一員として互いに理解・協力し合える社会づくりが求められています。

6 これからの取組（基本施策の展開方向（施策毎の具体的推進策））

① 施策名	1-1-1 開かれた市政の推進
関連する奥州市版SDGs	

② 施策の目標	あらゆる市民が市政に参画する機会を創り、市民とのパートナーシップのもとにまちづくりを推進します。
---------	--

施策の方向（具体的取組策）	主な取組内容
①市政への市民参画機会の確保	市民参画条例に基づいて、あらゆる市民が市政に参画できる機会を確保するとともに、その声をしっかりと市政に反映させることを目指します。
②わかりやすい市政情報の提供	市政に関心を持てるような広報紙を作成するとともに、利用者にとって閲覧しやすいホームページの提供に努めます。また、SNSやアプリケーション、ラジオ放送などそれぞれの特性を活かした多様な手段により、市内外へ効果的なプロモーション活動を行います。
③広聴活動の充実	市政に関する理解とまちづくりに対する参画意識を高めるとともに、市民の意識や動向を的確に把握するため、幅広い年齢層や多様な主体に対する広聴活動を展開し、市政への反映を目指します。
④行政情報の公開と個人情報保護対策の充実	行政情報の公開にあたっては、個人情報の厳密な管理及びセキュリティ対策を徹底し、適切かつ迅速な対応を行います。
⑤公開するオープンデータの拡充と利活用の取組支援	市が保有する公共データの公開を利活用が容易なデータ形式で進めるとともに、オープンデータの普及啓発、モデル事例の提供等により、公共データの民間での利活用を促進します。

成果指標

指標名	単位	現状値 (R2)	中間目標値 (R6)	目標値 (R8)	目標設定の考え方
市政についての審議会、研修会等に参加したくないと思う市民の割合	%	19.1	17.0	16.0	目標年度までに3%の減を目指します。*1
市の審議会等における公募委員の比率	%	4.7	6.5	7.5	毎年約0.5%の増を目指します。
市公式ホームページのアクセス数	件	3,400,771	3,516,986	3,659,073	毎年アクセス数2%増を目指します。*2
市公式ツイッターのフォロワー数*	件	8,212	9,982	11,005	毎年フォロワー数5%増を目指します。

* あるツイッターのアカウントに対して、そのツイートを受け取るアカウントをフォロワーといい、フォロワー数はその数を指す。
 *1 現状値は、令和元年に実施した総合計画・総合戦略アンケート調査の結果による。
 *2 R2は新型コロナウイルスの影響でアクセス数が大幅に増えたため、R1の実績値（3,185,443件）を基に目標値を算出した。

7 個別計画

なし

6 これからの取組（基本施策の展開方向（施策毎の具体的推進策））

① 施策名	1-1-2 地域コミュニティ活動の活性化
関連する奥州市版SDGs 	

② 施策の目標	住民が地域社会の構成員としての自覚を持ち、互いに支え合いながら主体的に取り組むまちづくりを目指します。
---------	---

施策の方向（具体的取組策）	主な取組内容
①地域づくり活動のリーダーとなる人材の育成	協働の担い手が市内の各地域において、地域課題解決に向けた持続的活動ができるよう、協働のまちづくりアカデミーによる人材の発掘・育成を行います。その修了生が主体となった活動を支援し、それぞれの地域において活躍している事例を紹介しながら、地域の担い手になり得る人材と地域がつながる支援を行います。
②地域自治組織の運営支援	地域主体の地域づくり活動を促進し、自立した地域運営へ誘導するため、地区振興会の運営に要する経費について、今後も引き続き財政支援を行うとともに、地域の活性化に資する情報の提供を進めるため、協働による取組事例を発表する場の設置や情報誌、SNSでの情報発信に取り組みます。
③自主的な地域づくり活動への支援	地域づくり活動の拠点として、地区センターを地域住民が安心して利活用できるよう、今後も施設の適正な維持管理に努めるとともに、地域づくり団体自らが地域課題を認識して、計画的にその解決に向けた活動に取り組むことができるよう「協働のまちづくり交付金」や「地域運営自立チャレンジ補助金制度」などの制度を運用します。

成果指標

指標名	単位	現状値 (R2)	中間目標値 (R6)	目標値 (R8)	目標設定の考え方
協働のまちづくりアカデミー修了者数（累計）	人	101	141	161	次世代の地域づくり活動を担うことが期待されるアカデミー修了生について、人材育成を測る指標として毎年10名の増を目指します。
地区センター利用者数	千人	397	487	557	地域づくり活動の拠点である地区センターの利活用に関する指標として毎年7%増を目指します。*

* 新型コロナウイルス感染拡大防止のための利用者数減少の影響の大きさを考慮し、大幅に件数が減少したR2の397千人からR3は横ばい、R4以降は毎年約7%ずつ徐々に回復し、R8にはR1の水準となるよう目標値を設定した。

7 個別計画

奥州市協働のまちづくり指針（平成23年度策定、令和2年度改訂）

6 これからの取組（基本施策の展開方向（施策毎の具体的推進策））

① 施策名	1-1-3 市民公益活動の推進
関連する奥州市版SDGs 	

② 施策の目標	市民公益活動を積極的に支援します。また、市民や団体、団体同士が情報交換、情報共有できる場をつくり、新たな市民公益活動を興していくとともに、活動の継承につなげ、市民が主体となった活力あるまちづくりを進めます。
---------	---

施策の方向（具体的取組策）	主な取組内容
①市民公益活動への支援	協働の提案テーブル*1の運用や市民提案型協働支援事業制度による活動支援により、市民公益活動を積極的に支援します。
②市民活動支援センター*2の機能の充実	市民公益活動団体の活動内容を多様なメディアにより発信し、市民の認知度を高めるとともに、市民公益活動団体同士が相互に交流できる場を創ります。

*1 地域団体や市民公益活動団体などと市が、地域の課題を解決するため提案を持ち寄り、協働事業の具体化に向けて話し合いを行う場のこと。
*2 市民に対する市民公益活動の啓発、情報交換、各種相談対応、交流連携促進の場の提供などの業務を行う、市民公益活動支援の拠点。

成果指標

指標名	単位	現状値 (R2)	中間目標値 (R6)	目標値 (R8)	目標設定の考え方
市民提案型協働支援事業認定事業数	事業	4	20	28	認定事業数の毎年度4件増を目指します。
市民活動支援センター登録団体数	団体	214	234	244	登録団体数の毎年度5団体増を目指します。

7 個別計画

奥州市協働のまちづくり指針（平成23年度策定、令和2年度改訂）



6 これからの取組（基本施策の展開方向（施策毎の具体的推進策））

① 施策名	1-1-4 男女共同参画社会形成の促進
関連する奥州市版SDGs 	

② 施策の目標	従来の性別による固定的な役割分担にとらわれず、自らの能力を生かして自由に行動・生活できる男女共同参画社会を目指します。
---------	---

施策の方向（具体的取組策）	主な取組内容
①男女共同参画の普及啓発	男女共同参画の普及啓発に資する講演会やセミナーの開催や市広報、ホームページにおける情報提供などにより、男女共同参画の普及啓発に努めます。
②市の政策方針決定の場への女性の登用	各種審議会、委員会等における女性の積極的な登用に努め、市政方針決定の場における女性参加率の向上を目指します。
③性の多様性に対する理解の促進	講演会やセミナーを通じて、性的少数者（セクシャルマイノリティ）に対する理解を深め、性的少数者の人権が守られる社会を目指します。

成果指標

指標名	単位	現状値 (R2)	中間目標値 (R6)	目標値 (R8)	目標設定の考え方
社会習慣の中で男性が優遇されていると感じている人の割合	%	—*	60	50	不平等感を感じている人の割合を1/2程度まで下げることを目指します。
市の審議会等における女性委員の比率	%	25.6	30	40	将来的には男女比率が等分となることを目指します。

* 令和3年度にアンケートを実施したため現状値 (R2) はなし

7 個別計画

第2次奥州市男女共同参画計画（平成28年度策定、令和3年度改訂）

6 これからの取組（基本施策の展開方向（施策毎の具体的推進策））

① 施策名	1-1-5 多文化共生・姉妹都市の交流の促進
関連する奥州市版SDGs 	

② 施策の目標	外国人住民が地域コミュニティの一員として、安心・安全に暮らせる環境を整えます。また、国内外の姉妹都市との交流を通して、異文化理解に加え、幅広い分野への波及効果を目指します。
---------	--

施策の方向（具体的取組策）	主な取組内容
①外国人住民が安心・安全に暮らせる環境づくり	日本語教室、各種相談窓口の開設、多言語による情報発信、医療通訳ボランティアの派遣や災害時における適切な情報発信など、外国人住民が安心・安全に暮らせるための環境を整えます。
②国際交流関係団体との連携強化	市内外の国際交流関係団体との連携を促進し、外国人住民や外国人観光客にやさしいまちづくりを目指します。
③姉妹都市交流の促進	姉妹都市への関心を高め、国際感覚を備えた人材の育成に努めます。また、市内の各種イベント等において、関係部署や団体と連携し、姉妹都市の紹介や、物産PRに努め、幅広い分野への浸透を目指します。

成果指標

指標名	単位	現状値 (R2)	中間目標値 (R6)	目標値 (R8)	目標設定の考え方
日本語で日常の会話ができる外国人住民の割合	%	—*	80.00	90.00	技能実習生などの外国人住民が日本語で日常の会話ができることを目指します。

* 令和3年度にアンケートを実施したため現状値 (R2) はなし

7 個別計画

なし



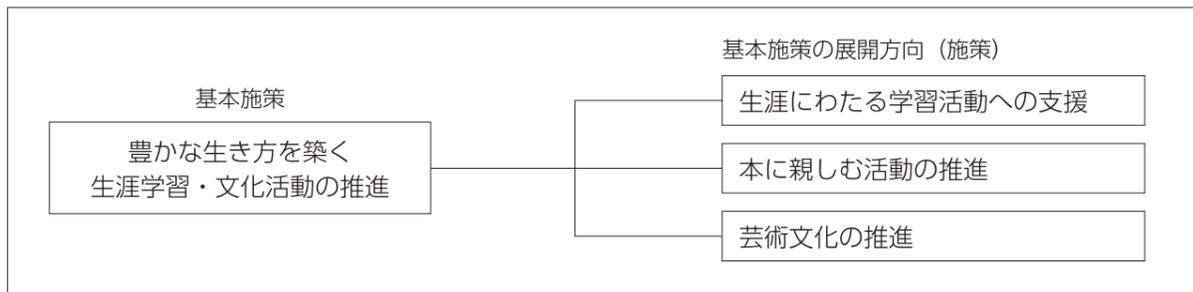
1 施策の大綱（政策の基本目標）

みんなで創る生きがいあふれるまちづくり

2 基本施策名称

1-2 豊かな生き方を築く生涯学習・文化活動の推進

3 体系図



4 基本方針（基本施策がめざすまちづくりの方針）

地域の伝統・文化を尊重し、これを育んできた郷土を愛することを自己認識の起点とし、赤ちゃんから高齢者までの幅広い世代や障がい者や外国人住民などあらゆる市民一人ひとりが自主的に自己を研鑽するとともに、市民の相互支援、協働などによる、学びの成果の効果的な活用を通じて、新しい価値を創造し豊かで生きがいのある人生を構築できるまちを目指します。

また、市民の主体的で多様な芸術文化活動がもたらす潤いを通じ、心豊かで活力あるまちを目指します。

5 現状と課題（基本施策に取り組むにあたり、踏まえるべき現況や解決すべき課題）

- 市民一人ひとりの生活環境や生活課題が多種多様化しているなかで、市民は健康で文化的な生活を求めており、学習活動に対するニーズも多様化しています。
- 地域の特色を生かした活動を進めている地区振興会や地域の学びに関わる団体等に対しては、地域課題の解決に向けた生涯学習事業等が効果的に実施できるよう、知識習得や手法向上に繋がる人材育成のための継続的な支援が不可欠です。
- 読書の推進活動では、岩手県子どもの読書状況調査によれば、年齢が高くなるにつれて1か月平均の読書冊数が減少傾向にあり、活字離れが進んでいる状況にあることから、本に親しむ取組が必要です。
- 価値観やライフスタイルの多様化、高齢化の進展により活動の継続が懸念される文化活動については、芸術文化団体の幅広い交流により活性化を図るとともに、気軽に芸術文化活動に参加できるような環境の整備を進め、多彩な芸術鑑賞機会を提供することが必要です。
- 新型コロナウイルスの影響を受け、集い、活動することが難しく、不安やストレスを抱えている人々が、学習や芸術文化活動を通じて健やかな日常を取り戻せるように、関係機関や団体の協力のもと、感染対策を講じ、安心して学習・芸術文化活動に取り組める場の提供を進めていくことが必要です。

6 これからの取組（基本施策の展開方向（施策毎の具体的推進策））

① 施策名	1-2-1 生涯にわたる学習活動への支援
関連する奥州市版SDGs	
 	

② 施策の目標	地域リーダーの養成や地域の教育力を高めるとともに、市民誰もが自ら学び続ける社会を目指します。
---------	--

施策の方向（具体的取組策）	主な取組内容
①生涯学習事業の推進	市全域での生涯学習への取組や、各地域にて積極的に取り組んでいる生涯学習事業を広げていくために、各種取組を一体的に進めます。 市民の多様な学習ニーズに対応するために、関係機関や団体と連携して、多様な学習機会を提供できる体制を充実します。
②地域支援体制の構築	地区振興会等の企画運営する地域課題の解決に向けた生涯学習事業等が効果的に実施できる体制を整備するため、人材育成等各種研修会を開催するとともに、これまで培ってきた知識や経験を持った人材の活用を進めます。
③家庭教育の支援	家庭環境や地域社会の変化により複雑化・多様化する課題の解決が図れるよう、学習機会の提供や学習活動の支援などにより、家庭での教育力の向上を図ります。
④青少年育成の推進	地域の中で子どもたちが心豊かで健やかに育つことができる環境づくりを目指し、岩手県教育振興運動と協調しながら、家庭（子、保護者）、地域、学校、行政の連携を強化するとともに、青少年の社会参加・体験活動を支援し地域コミュニティの活性化を推進します。
⑤生涯学習施設の適正な維持管理	生涯学習施設の安全管理や維持修繕などにより、適正な維持管理に努めます。

成果指標

指標名	単位	現状値 (R2)	中間目標値 (R6)	目標値 (R8)	目標設定の考え方
社会教育講座受講者数対総人口比率	%	18.41	53.00	55.00	R1の実績値に回復させることを目指します。*

* R2は新型コロナウイルスの影響で大幅に減少したため、R1の実績値（55.97%）を基に目標値を設定した。

7 個別計画

- 奥州市教育振興基本計画（平成28年度策定、令和3年度改訂）
- 第2次奥州市生涯学習基本計画（平成28年度策定、令和3年度改訂）
- 第5次奥州市放課後子どもプラン（令和2年度策定）

6 これからの取組（基本施策の展開方向（施策毎の具体的推進策））

① 施策名	1-2-2 本に親しむ活動の推進
関連する奥州市版SDGs 	

② 施策の目標	ライフステージに応じた読書活動を推進するとともに、読書活動を支える人材の育成・活用と図書資料や施設などの整備を進めます。
---------	--

施策の方向（具体的取組策）	主な取組内容
①子ども読書活動の推進	読書による豊かな情操と自由な想像力の習得が、社会の変化への対応や様々な課題の解決の一助となるよう、「奥州市子どもの読書活動推進計画」に基づき、図書館や親子ライブラリー「えほんの森」*、読み聞かせ活動等を通じ、幼少期から本に親しむ事業の展開に努めます。 また、読書活動を支えるボランティア等人材を育成し、その活動を支援します。
②図書館利用を通じた課題解決支援	各種調査活動における相談業務の実施、図書に関する情報の提供、行政諸課題や利用者ニーズを反映した企画展の開催等により、市民が抱える課題の解決を支援します。
③図書資料・視聴覚教材の整備充実	図書の蔵書充実と利用者にとって効果的な配置に努めるとともに、岩手県南第一地域視聴覚教育協議会の事業を活用した視聴覚教材の充実に努めます。
④図書館の適正な維持管理	図書館の維持修繕などにより、適正な維持管理に努めます。

* 大きな絵本、紙芝居、図鑑、しかけ絵本、点字絵本など、乳幼児向けの多様な種類の絵本を配架し、親子で自由に本と触れ合い、楽しむことができる場所。授乳スペースがあり、スタッフによる読み聞かせもしている。

成果指標

指標名	単位	現状値 (R2)	中間目標値 (R6)	目標値 (R8)	目標設定の考え方
図書貸出利用者総数対総人口比率	%	82.84	85.00	90.00	R1の実績値に回復させることを目指します。*
市民一人当たり図書等貸出冊数	冊	5.00	5.10	5.10	現状維持に努めます。

* 図書貸出利用者総数対総人口比率について、R2は新型コロナウイルスの影響で大幅に減少したため、R1の実績値（91.87%）を基に目標値を設定した。

7 個別計画

- 奥州市教育振興基本計画（平成28年度策定、令和3年度改訂）
- 第2次奥州市生涯学習基本計画（平成28年度策定、令和3年度改訂）
- 第3次奥州市子どもの読書活動推進計画（平成30年度策定）

6 これからの取組（基本施策の展開方向（施策毎の具体的推進策））

① 施策名	1-2-3 芸術文化の推進
関連する奥州市版SDGs 	

② 施策の目標	芸術文化がもたらす喜びや感動が、市民の主体的で多様な芸術文化活動につながる社会を目指します。 また、これまで地域で培われた活動の継承と発展を目指します。
---------	---

施策の方向（具体的取組策）	主な取組内容
①市民の芸術文化活動の推進	幼少期から優れた芸術文化の鑑賞や参加機会を提供することで子どもの情操を養い、芸術文化活動の発展を支援します。 また、奥州市芸術文化協会をはじめとする関係機関・団体などと連携しながら、芸術文化活動環境の醸成に努めます。 さらに、市民の自主性を持った芸術文化活動の発表や鑑賞機会が、新たなファンを創造する循環型の活動を支援します。
②文化会館の適正な維持管理	文化会館の安全管理や維持修繕などにより、適正な維持管理に努めます。

成果指標

指標名	単位	現状値 (R2)	中間目標値 (R6)	目標値 (R8)	目標設定の考え方
文化会館利用者数対総人口比	%	95.5	240.0	240.0	R1の実績値に回復させることを目指します。*

* R2は新型コロナウイルスの影響で大幅に減少したため、R1の実績値（241.8%）を基に目標値を設定した。

7 個別計画

- 奥州市教育振興基本計画（平成28年度策定、令和3年度改訂）
- 第2次奥州市生涯学習基本計画（平成28年度策定、令和3年度改訂）

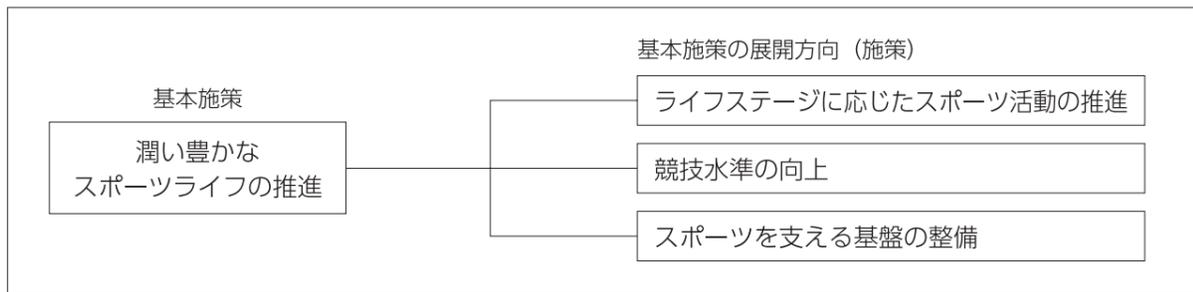
1 施策の大綱（政策の基本目標）

みんなで創る生きがいあふれるまちづくり

2 基本施策名称

1-3 潤い豊かなスポーツライフの推進

3 体系図



4 基本方針（基本施策がめざすまちづくりの方針）

スポーツを通じて、市民が生涯にわたり心身ともに健康でいきいきとした生活を営むことができるまちづくりを目指します。

5 現状と課題（基本施策に取り組むにあたり、踏まえるべき現況や解決すべき課題）

- 市民の日常生活は多様化しており、これまで実施してきたスポーツ事業の中には、参加者数の減少、固定化や、多様化する市民のニーズに合致しなくなっているものもあります。そのためにも、ニュースポーツ*を含む様々なスポーツ需要に応えるための新たな事業展開が必要です。
- スポーツ活動を通じて相互の地域的な連帯を深め、明るいコミュニティづくりに寄与するため、市民が主体的に取り組めるような環境づくりが必要です。
- コロナ禍の状況ではありますが、奥州市民の一体感を醸成するため、全市的なイベントの継続開催が必要です。
- スポーツ活動の意識を高めるには、競技水準の向上に伴う気運の高まりが大変重要であり、国際大会や全国大会などで活躍する選手の育成、指導者の養成が必要です。
- 各種大会の開催や競技の普及活動、競技水準の向上、コミュニティスポーツ活動の奨励には、体育協会をはじめとする各種団体との連携が必要不可欠です。
- スポーツに接する機会を創出するためには、イベントや施設の利用状況などの様々な情報をホームページ、SNS、報道機関、関係団体を通じて提供することが必要です。
- 安全にスポーツ活動が行なえる環境の整備が求められており、そのためには施設の適正な維持管理が必要です。

* 子どもからお年寄りまで誰もが気軽に楽しめるように、技術やルールを比較的簡単に考案された、新たなスポーツのこと。

6 これからの取組（基本施策の展開方向（施策毎の具体的推進策））

① 施策名	1-3-1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
関連する奥州市版SDGs  	

② 施策の目標	市民誰もが気軽にスポーツをできる社会を目指します。
---------	---------------------------

施策の方向（具体的取組策）	主な取組内容
①全市事業の推進	全市民が参加できるスポーツイベントを開催し、市民のスポーツ活動を推進します。また、市民の様々なニュースポーツ需要に応えるための事業を展開します。
②コミュニティスポーツの支援	スポーツ団体が主催するスポーツ活動に対する支援を行うほか、スポーツ推進委員との連携のもとに地域のスポーツ活動を支援します。あわせて、地域の連帯を深め、コミュニティづくりに寄与するため、積極的かつ、主体的に取り組めるような環境づくりを進めます。
③スポーツに接する機会の提供	各種スポーツに関する情報を広報、ホームページ、報道機関、関係団体を通じて周知することで、スポーツに接する機会を提供します。

成果指標

指標名	単位	現状値 (R2)	中間目標値 (R6)	目標値 (R8)	目標設定の考え方
成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	58.3	65.00	65.00	国が第2期スポーツ基本計画にて掲げる目標値である65%を目指します。
スポーツリーダーバンク*登録者数	人	25	27	28	現状値より概ね10%増を目指します。

* 県内各地域のスポーツ活動・スポーツレクリエーション活動の普及と発展、また、地域のスポーツ振興やスポーツを通じたコミュニケーションのさらなる充実を目的とした、指導者の派遣紹介のための登録組織。

7 個別計画

- 奥州市教育振興基本計画（平成28年度策定、令和3年度改訂）
- 奥州市スポーツ推進基本計画（平成28年度策定、令和3年度改訂）

6 これからの取組（基本施策の展開方向（施策毎の具体的推進策））

① 施策名	1-3-2 競技水準の向上
関連する奥州市版SDGs  	

② 施策の目標	選手育成や指導者養成の支援により競技水準の向上を図り、競技者の目標となる選手の輩出を目指すとともに、スポーツへ取り組む意欲を喚起します。
---------	--

施策の方向（具体的取組策）	主な取組内容
①選手育成、強化	トップアスリートの輩出を目指し、幼児期からスポーツに親しむ機会の提供、優秀な指導者の調査・招聘促進をし、競技水準の向上を図ります。
②指導者養成	各種指導者講習会を開催し、指導者の質の向上を図ります。

成果指標

指標名	単位	現状値 (R2)	中間目標値 (R6)	目標値 (R8)	目標設定の考え方
国民体育大会出場者数	人	1	40	40	H27の現状値より概ね50%増を目指します。*1
県民体育大会優勝者数	人	6	67	67	H27の現状値より概ね20%増を目指します。*2

*1 R2は新型コロナウイルスの影響で大幅に減少したため、H27の実績値（26人）を基に目標値を設定した。
 *2 R2は新型コロナウイルスの影響で大幅に減少したため、H27の実績値（56人）を基に目標値を設定した。

7 個別計画

奥州市教育振興基本計画（平成28年度策定、令和3年度改訂）
 奥州市スポーツ推進基本計画（平成28年度策定、令和3年度改訂）



6 これからの取組（基本施策の展開方向（施策毎の具体的推進策））

① 施策名	1-3-3 スポーツを支える基盤の整備
関連する奥州市版SDGs 	

② 施策の目標	スポーツ関係団体の運営や活動の支援、団体と連携した施策を展開します。 また、施設、設備などの適正な管理を行い、市民のスポーツ環境を整備します。
---------	--

施策の方向（具体的取組策）	主な取組内容
①施設の適正な配置と維持・管理	必要な施設を見極めて配置し、施設の適正な維持、管理に努めます。
②スポーツ推進委員との連携	市の事業をスポーツ推進委員と連携し、円滑に実施します。 コミュニティスポーツ活動をスポーツ推進委員が地域の団体などと連携し主体的に進めます。
③関係団体との連携	スポーツ団体の事業運営が適正に行われるよう支援します。 総合型地域スポーツクラブ*の設立、運営を支援します。

* 地域の人々に、年齢、興味関心、技術技能レベル等に応じた様々なスポーツ機会を提供する場。

成果指標

指標名	単位	現状値 (R2)	中間目標値 (R6)	目標値 (R8)	目標設定の考え方
体育施設の利用者数	人	382,699	605,000	605,000	R1の現状値より概ね5%増を目指します。*1
学校施設開放の利用者数	人	116,741	148,000	148,000	R1の現状値より概ね5%増を目指します。*2

*1 R2は新型コロナウイルスの影響で大幅に減少したため、R1の実績値（576,984人）を基に目標値を設定した。
 *2 R2は新型コロナウイルスの影響で大幅に減少したため、R1の実績値（141,417人）を基に目標値を設定した。

7 個別計画

奥州市教育振興基本計画（平成28年度策定、令和3年度改訂）
 奥州市スポーツ推進基本計画（平成28年度策定、令和3年度改訂）